



校訓「自主 勤労 敬愛」

学校教育目標「心豊かで、自ら考え行動できる生徒の育成」

スローガン 「努力夢現」 ～ 努力を続け、夢や目標を実現・達成できる学校 ～



【 ♪青春のハーモニー 合唱コンクール♪ 】

9月に入り、少しずつ進んできた校内合唱コンクールの練習が本格的に始まり、本番の9月26日（金）を迎えました。これまで、各学級の実行委員を中心に練習に励み、本番に臨みました。

●本番までには、外掲示板に合唱コンクールをテーマにした作品を展示して盛り上げてくれました。ありがとうございます！

●コンクール当日は、午前中に3年生が体育館で会場設営をしてくれました。縁の下の方持ちに感謝です！

●美術同好会のメンバーが作成したテーマパネルです。美しいハーモニーを奏でるイメージを清新なデザインで表現しています。スバラシイ！！



当日まで様々なことがあったでしょう。集団の一員として、自分は何ができましたか。自主的、自発的に考え、行動する力が高まりましたか。生徒の皆さん一人一人の力で、学級が「群れ」から「集団」へ成長できたと思います。



★校舎内には完成したテーマパネルの制作過程が掲示してありました。何通りものイメージの中から最終的に1つのデザインが絞り込まれ、生徒の皆さんの手作りで完成していく過程がわかりやすく示されていました。パネル本体を手作りしてくれた山下片務員さんにも感謝です。

【 たすきに込めて 中総体駅伝 】

9月1日（月）からスタートした駅伝練習。朝7時10分練習スタートで頑張っていました。担当の先生からは、今年は男女ともに、メンバーがそろそろ難しいとのことのお話でしたが、志と意欲のある生徒の皆さんが参加しました。暦では9月に入っても、相変わらず気温の高い日が続く、熱中症に気を付けながら練習に励んでいました。



10月2日（木）にかきどまり陸上競技場で開催された長崎市中総体駅伝大会本番では、男女とも最後まであきらめない力走を見せてくれました。選手諸君、たすきに込めた思いはしっかりと受け止めました！！皆さんは小ヶ倉中学校の誇りです。これからも胸を張って学校をリードしてください。



【 大浦地区少年意見発表会 】

9月27日（土）に南部市民センターで大浦地区少年意見発表会が開催され、大浦署管内の小中学生15名が意見発表をしました。本校からは、2年生の 尾上華乃音さんが、小ヶ倉中学校代表として「私の夢」というテーマで発表しました。

尾上さんには、急なお願ひにもかかわらず、週明けの生徒集会での発表を快く引き受けてもらいました。感謝です。

※本文は次ページに掲載
空手を通して学んだことや将来の夢についてなど、自分の経験を通して、自分の言葉で力強く訴えかけていた姿に感銘を受けました。尾上さんの、文武両道でひたむきに精進する態度や謙虚さは大人、子供に関係なく普遍的な価値があると思います。今後のさらなる成長と活躍にも大いに期待しています！



【 連合音楽会 さすが3年生 】

10月16日（木）・17日（金）の2日間、ブリックホールで長崎市連合音楽会が開催されました。本校は、17日の午後から3年生が参加し「ふるさと」と「My Own Road ～僕が創る明日」を演奏。本格的なホールに負けないくらいの美しいハーモニーを会場中に響かせていました。



【 修学旅行 京都・大阪・福岡 】

10月22日（水）から24日（金）の3日間、2年生は修学旅行でした。

★1日目は京都市内の自主研修でした。本校をバスで出発後、博多から新幹線で京都駅に到着。約3時間ほどでしたが京都の秋を楽しみました。

★2日目は終日ユニバーサルスタジオジャパンで過ごしました。ハロウィン関連の企画があり、仮装した一般客でゴった返す中でしたが、子供たちは存分に満喫していました。

★3日目はフェリー泊後九州上陸。九州国立博物館見学と太宰府自主研修で3日間の旅を締めくくりました。

参加者全員が無事に帰宅できたことに感謝です。この旅で得た学びを今後の生活に生かすことを期待しています。

【 深まる秋の花壇・ハロウィン 】

おくんちが過ぎ、秋めいてきた本校の花壇は、色とりどりの花々が咲き誇り、蝶が舞っています。これも、片務員の山下さんが、毎日細やかにお世話を続けてくれたおかげです。ありがとうございます。

★技術家庭科で、3年生が育てている鉢植えの大根も、毎日水やりをしてくれたご主人様2年生の期待に応えてみるみる成長し、互いに競い合っています。ぜひ、見に来てみてください！

★掲示板はハロウィンです。文字は「期末テストFight!!」まさに恐怖ですね（笑）生徒諸君、勉強も頑張りましょう！



私は、自身のことを誰よりも信用し、そして、信頼しています。それは目標に向けて努力を怠らず、逆境のときでもそれを乗り越えようとする自分が好きだからです。

私は、空手を幼い頃からしています。空手は私にとって自分が打ち込める競技であると同時に、私を成長させてくれるものです。小学6年生のとき、初めて日本一となり、中学1年生の新人戦全国大会でも優勝することができました。今の私の夢は、世界に通用する空手家になるということです。そのために、自身の経験から必要だと思う要素が3つあります。

一つ目は、「負けと逆境の大切さ」です。小学4年生の全国大会のとき、初戦で大敗する経験がありました。あのときの絶望感や自身の力量不足への怒りなど様々な感情は今でも忘れられません。しかし、今となっては、この「負け」が自分を大きく成長させてくれました。私はこの「負け」から後悔しない努力をすると決め、日々何時間も稽古をしました。最初は「負けたくない」という一心で稽古をしていたのですが、次第に自分の理想の空手というものを見つめ、明確にしていたことから、空手をしっかり研究していったのです。すると、稽古がどんどん楽しくなっていました。それを実践するのが大会であるということ意識すると表現の楽しさを感じるようになってきたのです。それから5年生のときの全国大会で、前年度の全国優勝者と対戦することとなりました。試合直前に兄から、「神様から与えられた試練を乗り越えられるかは自分次第だ。」という言葉をかけられ、今までの自分の努力を信じることができ、勝利することができました。この経験から「負けと逆境」は自分と向き合い、自分にとって何が足りないのか冷静に分析し、新しい考え方が生まれる貴重な機会と学ぶことができました。

二つ目は、「ポジティブ思考の大切さ」です。私は兄の常に物事をプラスに考えていて、逆境を楽しんでいる姿をととても尊敬しています。私が世界に通用する空手家になる夢を実現していく過程で、様々な困難・逆境が立ちはだかってくることでしょう。そんな時こそ、兄の「ポジティブ思考」を大切にしたいと思っています。

三つ目は、「感謝」です。私は自分が一生懸命になるあまり、自分のことしか見えないときがあります。改めて日本一になるためにどれだけの多くの人が支えてくれたか考えてみると、家族や道場の人たち、地域の人達やいろいろな人が私を支えてくれています。だから、「自分一人で強くなってきた。」とおごった考え方をするのではなく、「自分の強さは支えられ、成長させてもらっている」という気持ちを持って、周囲の人達に「ありがとうございます。」の気持ちを伝えていきたいと思っています。

世界に通用する空手家になる夢。これにはたくさんの困難が私に立ちはだかってきたり、私の自信を奪っていくこともあると思います。でも私が大切にしている三つのことをこれからも胸に刻みながらたゆまず努力をしていけば、この夢は叶うと信じています。私が夢を果たした後も私は、空手家として空手をもっと世界中に広め、礼儀の大切さ、努力の大切さを伝えていきたいと思っています。また、空手を通じて世界の人と繋がり、被爆地である長崎の悲劇を伝え、世界平和のためにも貢献していきたいと思っています。私はこのような自分の夢を実現するために、時間を大切にし、感謝の気持ちを忘れず、何事にも全力で取り組み、日々成長していきたいと思っています。